

# myzox

RTK Dual-band GNSS Receiver

ジオウォーカー

# GEO WALKER

2周波RTK-GNSS受信機

## 快測ナビ 接続ガイド

### はじめに

この度はGW01をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書では株式会社建設システム製のICT施工現場端末アプリ快測ナビでの使用方法を解説いたします。本書の指示に従って設定を行ってください。

v1.0.1

|                      |    |
|----------------------|----|
| はじめに                 | 0  |
| 目次                   | 1  |
| 1. GEO WALKER アプリの設定 | 2  |
| 2. 快測ナビの設定           |    |
| 2-1. 新規現場の作成         | 7  |
| 2-2. GNSS モードへの切り替え  | 8  |
| 2-3. GEO WALKER との接続 | 10 |
| 2-4. 測位データの品質確認      | 12 |
| 2-5. 既知点での精度確認       | 13 |
| 2-6. 観測設定            | 14 |
| 2-7. ローカライズを行う       | 15 |

**注意****■プランによる違いについて**

快測ナビでは GEO WALKER を使用する際は、快測ナビアドバンス版をお持ちの場合のみご利用いただけます。  
スタンダード版ではご利用いただけませんのでご注意ください。

**■観測方式について**

快測ナビを利用する端末の位置情報で観測します。  
画面上には FIX 状態や FLOAT 状態などの表記は出ませんので  
ご注意ください。

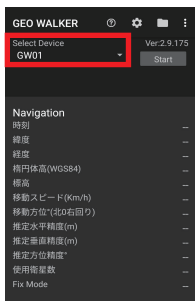
**■初期設定について**

本書では GEO WALKER アプリケーションの設定からスタートします。  
Bluetooth や疑似ロケーションの設定はクイックスタートガイドを参照の上  
設定をお願い致します。

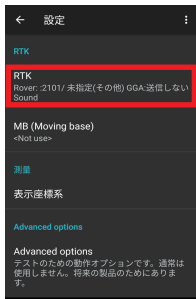
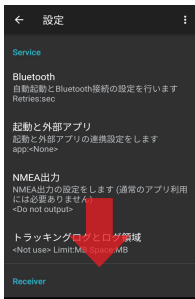
## 1.GEO WALKER アプリの設定

GEO WALKER にはサードパーティー製のアプリケーションやソフトウェア等で位置情報が利用できるよう、端末自体に搭載されている GPS の位置情報を GEO WALKER の位置情報に書き換える機能を有しております。

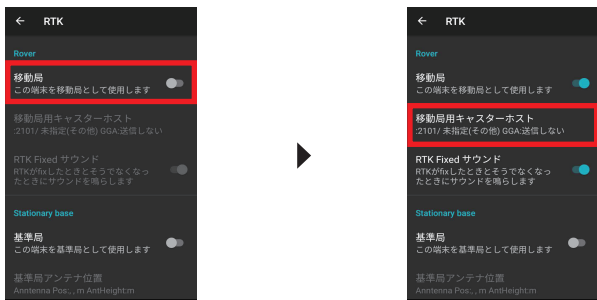
- ① GEO WALKER アプリを起動しセレクトデバイスに GW01 を指定し、トップ画面上の [設定] をタップする。



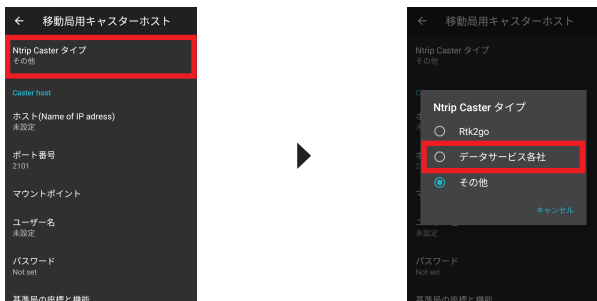
- ② 画面を下にスクロールし、[RTK] をタップします。



③移動局を ON にし、移動局用キャストホストをタップします。

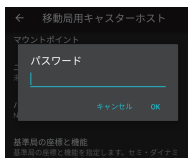
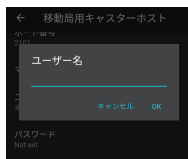
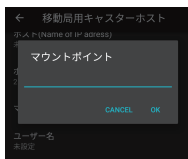
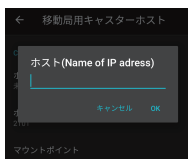
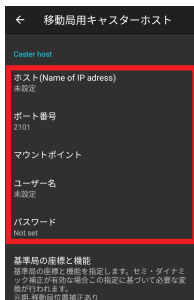


④Ntrip Caster タイプをタップし、データサービス各社を選択します。





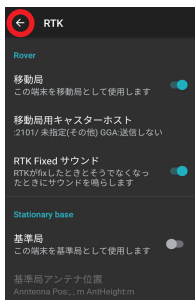
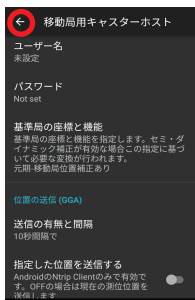
## ⑤Caster host 内の情報をそれぞれ入力します。



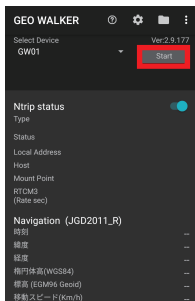
## 情報入力について

|          |   |
|----------|---|
| ホスト      | 配信会社から送付されるアドレスもしくは IP アドレスを入力します。<br>例 xxx.xxx.com xxx.xxx.jp など     |
| ポート番号    | 通信に使用するポートです。デフォルトで 2101 が指定されています。<br>例 2101 5001 など                 |
| マウントポイント | 配信されている情報の種類を識別する ID です。GNSS の種類や配信方式によって異なります。配信会社ごとにマウントポイントは異なります。 |
| ユーザー名    | 配信サービスに接続するユーザー名です。ユーザー ID と記載されている場合もあります。                           |
| パスワード    | 配信サービスに接続するパスワードです。   |

⑥戻るボタンをタップし、2つ前のメイン画面に戻ります。

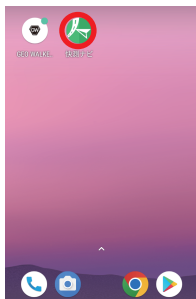


⑦[Start] をタップし測位を開始します。右画面のように FixMode に **FIXED** 表示が出れば設定は終了です。



空が開けている環境下で FIXED 表示にならない場合は、前述の設定をご確認ください。

- ⑦ステータスで FIXED 状態であることを確認したら、そのままホーム画面に戻り快測ナビを起動します。(GEO WALKER の測位機能はバックグラウンドで作動しています。)



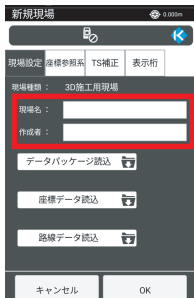
## 2-1. 新規現場の作成

新規現場を作成します。  
既に現場作成がお済みの場合は次のページからお読みください。

## ①3D 施工用現場を作成します。



## ②現場名、作成者を入力します。

③データパッケージ、座標データ、路線データを取り込みます。  
詳細は建設システム快測ナビマニュアルをご覧ください。

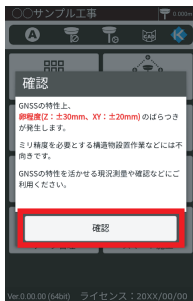
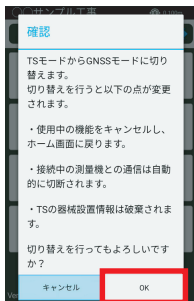
## 2-2.GNSSモードに切り替える

モードを、[TSモード] から [GNSSモード] に切り替えます。同様の手順で、[GNSSモード] から [TSモード] への切り替えも可能です。

- ①メインメニューのツールバーにある通信設定をタップし、GNSSモードに切り替えます。



- ②内容を確認し、[OK] をタップします。



- ③モードが切り替わったことを確認してください。



## ■接続画面でのモード切り替えについて

TSモードの通信設定画面や、GNSSモードのGNSS接続画面でも右上のアイコンからモードを切り替えることができます。



TSモード  
通信設定画面



GNSSモード  
GNSS接続画面

## 2-3.GEO WALKERとの接続を行う

観測方式を選択し、端末位置情報を選択します。

- ①ツールバーの「GNSS 接続」をタップし、観測方式を選択します。




- ②固定局、移動局はそのままで「開始」をタップします。



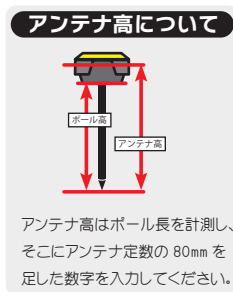
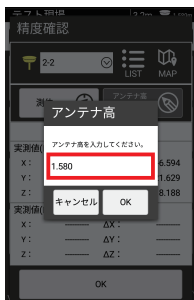
### ■アンテナ高の入力について

GNSS 機器と接続後、既知点での精度確認をおこないます。  
精度確認する既知点を選択して観測します。

①ツールバーの [GNSS 接続] をタップし、 アイコンを選択します。



②アンテナ高を入力します。ポール長 + アンテナ定数 80mm を数値に入力します。





## 2-4.測位データの品質確認を行う

適切な品質で測位できているか確認します。

測位品質の状態を確認します。

現場名の右にあります推定位置精度を確認します。

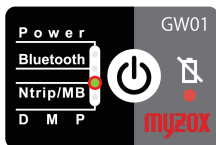


### 推定位置精度

位置情報から推定される座標精度です。

推定位置精度が 1.4cm であることを確認してください。

それより数値が大きい場合は FIX していない可能性があります。




また測位品質は GEO WALKER 本体の LED でも確認することができます。

本体ラベルの Ntrip/MB LED が点灯していれば FIX 状態です。

## 2-5.既知点での精度確認を行う

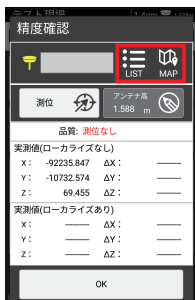
既知点と比較して精度の確認を行う必要があります。

GNSS 機器と接続後、既知点での精度確認をおこないます。  
精度確認する既知点を選択して観測します。

① ツールバーの [GNSS 接続] をタップし、 アイコンを選択します。



② [LIST] または [MAP] から確認する既知点を選択します。  
既知点に GNSS アンテナを設置し、既知点座標と GNSS 測位座標の差を確認します。



## 2-6. 観測設定を行う

観測設定で記録時の観測回数を設定を行います。

- ① ツールバーの「観測設定」をタップし、観測設定を行います。



N 回平均：記録時の観測数を設定します。

## 2-7.ローカライズを行う

基準点での測位を行いローカライズを適用します。

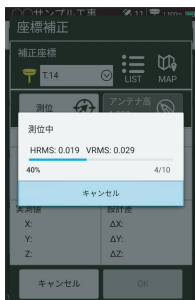
①[ローカライズ] をタップして、補正方法を選択します。



②ローカライズに使用する既知点の座標を [LIST] または [MAP] から選択し、[測位] をタップします。



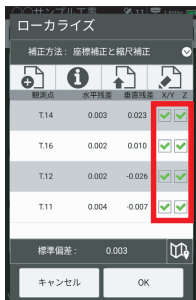
③結果を確認し、[OK] をタップします。



④観測した補正点が追加されました。同様に②～③を繰り返し、3点以上を観測します。



⑤残差を確認し、ローカライズに適しない場合はチェックを外します。



⑥[OK] をタップし、ローカライズを完了します。

